

# 日商簿記1級 とおるトレーニング 商業簿記・会計学 I 基礎編 (第2版 第1刷 2025年11月16日)

弊社の書籍をご利用いただき、有難うございます。

上記書籍の内容に誤りが判明致しました。

お手数をおかけして申し訳ございませんが訂正の上、ご利用下さい。

なお、弊社HP【「ネットスクール」検索→「読者の方へ」】にて訂正資料等の最新情報を閲覧・ダウンロードできますので、ご利用下さい。

2026/1/9

ページ	訂正箇所	誤	正	備考
7-4	(2) 減価償却 仕訳の貸方	(貸) 車両 36,000	(貸) 車両減価償却累計額 36,000	2026/1/9
※ 9-13	上から2行目	「…作成しなさい。」の後に、右の指示を追加	のれんを減損する場合、減損を認識した資産に配分されたのれんの金額を限度とする。	2025/12/16
※ 9-14	決算整理後残高試算表 3. (5) 仕訳の貸方 下から3行目の計算式	残高試算表 仕訳の貸方 計算式 建物 79,200 (貸) のれん 3,200 のれん:9,000千円-1,000千円-3,200千円=4,800千円 のれん 4,800 建物 800 建物:80,000千円-800千円=79,200千円	残高試算表 仕訳の貸方 計算式 建物 76,800 (貸) のれん 800 のれん:9,000千円-1,000千円-800千円=7,200千円 のれん 7,200 建物 3,200 建物:80,000千円-3,200千円=76,800千円	〃

ISBN978-4-7810-3175-0 C1034 ¥2700E

※「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」第23項では減損損失ののれんへの優先的配分の詳細について規定されていないため、問題文に指示を追加するとともに、配分計算をテキストに挿えるように修正いたしました。